



◎内務省内の異動

地方官の異動に伴ひ内務本省に於ては新居氏の後任に文書課長數藤鐵臣氏、其の後任文書課長に土木局道路課長石井政一氏、其の後任道路課長に社會局保健課長灘尾弘吉氏が任命せられた。

◎灘尾弘吉氏

石井政一氏の後任として土木局道路課長に任せられ本會幹事の委嘱を受けられたる灘尾弘吉氏は明治三十二年十二月二十一日廣島縣佐伯郡大柿町大字原百二十八番屋敷に孤々の聲を擧げられ、大正七年三月縣立廣島中學校を卒業し

同十年三月には第一高等學校を同十三年四月三十日に東京帝國大學法律科(英法)を卒業せられた。同年五月六日内務屬(衛生局)となり同十一月高等試驗行政科合格、同十五年五月三十一日地方事務官(栃木縣)となり社會課長、會計課長官房主事となり同十二月六日内務省社會課事務官に轉



任、昭和九年三月瑞西國ジエネーブに於て開催の第十八回國際勞働總會に於ける政府代表顧問を命ぜられ序を以

て歐米各國に出張を命ぜらるる同十二年二月十二日社會局書記官となり同十三年一月十一日厚生省書記官となり同十一月九日内務省書記官に轉任土木局道路課長に任せられた。

◎交通事業調整臨時委員左の通り發表

警視總監 安 倍 源 基
東京府知事 岡 田 周 造

(各 通)

從三位勳二等 三邊長治

從四位勳四等 平山泰

從六位 五島慶太

早川德次

後藤國彦

交通事業調整委員會臨時委員被仰付十一月二十日內閣

◎内務省土木試驗所談話會

昭和十三年十一月中に開催したる土木試驗所談話會に於ける話題は次の通りである。

◎交通事業調整委員會特別委員

十一月十六日の同委員會に於て特別委員會を設定することとなり、左記十九名が特別委員として指名せられた。

館 哲 二 喜安健次郎

會 我 祐 邦 堤 康次郎

星 島 二 郎 堀切善次郎

太 田 哲 三 大 藏 公 望

池 田 宏 小 竹 茂

安 部 磯 雄 安 部 源 基

岡 田 周 造 三 邊 長 治

五島慶太 早川德次

中川正左 後藤國彦

平山泰

第一八〇回技術談話會話題(昭一三一七號)

時 日 昭和十三年一月一日(金曜)午後一時半から

三時

場 所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試驗所

講堂

一、上海の感想に就て(一時間) 石川技師(都市計畫東京地方委員會)

二、北支唐山殷新洋灰工廠製の普通セメントの品質試験 (二〇分) 福島彌六

第一八一回技術談話會話題(昭一三一一八號)

時 日 昭和十三年一月二五日(第四金曜)午後二時

四時

場所 本郷駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

一、塘沽港に關する調査報告 内務技師 千田正重氏

(名古屋土木出張所)

◎近刊圖書雜誌

○鐵道軌道經營資料(十月號十一月號)

○セメント界彙報(第三六七、三六八號)

○港灣(第一六卷一一號)

○日本ポルトランドセメント業技術會報告(第二四回)

○大阪商工會議所月報(十月、十一月)

乗合自動車(第十二卷一〇號)

(長野次郎氏) 交道調整法運用へ注文、伊東五郎兵衛氏

○陸上交通事業調整法の精神と省營バスの進出

○國際觀光(昭和十三年秋季號)

○觀光聯盟情報(第二卷一〇一一號)

(鳥尾敬光氏) 道路標識について

○國立公園(十一月號)

○都市問題(第二七卷五號)

(坂卷政夫氏) 交通統制と地方自治團體の地位

○水利と土木(第一一卷一一號)

(物部長穗氏) ミシシッピ河沿岸の幹線大道路

○汎交通(十一月號)

(竹中龍雄氏) 統制經濟の發達と公益企業政策の變質

○法律時報(一一月號)

○技術向上(第二輯)

(原雄次郎氏) 無鐵筋コンクリート隧道に就いて

○土木(第四六號)

(遠藤貞一氏) 北支蒙疆滿洲を視察して

○石油時報(一一月號)

○自警(一一月號)

○土木建築工事畫報(第一九三八號)

○警察協會雜誌(第四六二號)